

安全保障分野における中国の宇宙政策

防衛研究所 八塚正晃

1. 宇宙の安全保障をめぐる中国指導部の認識

- 「両弾一星」から始まった宇宙開発：国威発揚としての宇宙開発
- 湾岸戦争の衝撃と「新たな戦略的高地」としての宇宙空間
- 宇宙安全保障の強調：自国の宇宙アセットに対する防御
 - －米国の宇宙戦力に対する警戒感

2. 中国の軍事戦略と宇宙空間

- 冷戦後の戦争について認識の変遷
 - －「ハイテク条件下の局地戦争」→「情報化局地戦争」→「智能化戦争」
 - ①戦争の局地化、②エスカレーション管理
- 「制天権」の掌握のための宇宙作戦能力
 - ①宇宙における抑止、②宇宙の情報支援、③天対天、天対地、地対天攻撃
- 宇宙作戦能力に対する見方と能力の増強
 - －対米宇宙作戦妨害能力の向上（ASATの実験）
 - －情報支援能力、宇宙空間における作戦能力の向上
 - －サイバー戦、電磁戦との一体的運用：「網天一体」
 - －ハードキルはあり得るのか
- 宇宙作戦を担う軍事組織
 - －2015年以降の軍事改革：
 - 戦略支援部隊の創設、ロケット軍への格上げ、空軍の充実

3. 今後の展開

- 「宇宙強国」の実現
 - －米国と並ぶ宇宙の技術、アセット、実績の積み上げ
 - －「中国製造 2025」や「軍民融合」にみる宇宙開発の推進
- 「宇宙運命共同体」の構築
 - －発展途上国に対する機会の提供、宇宙に係る国際ルールへの積極的関与